

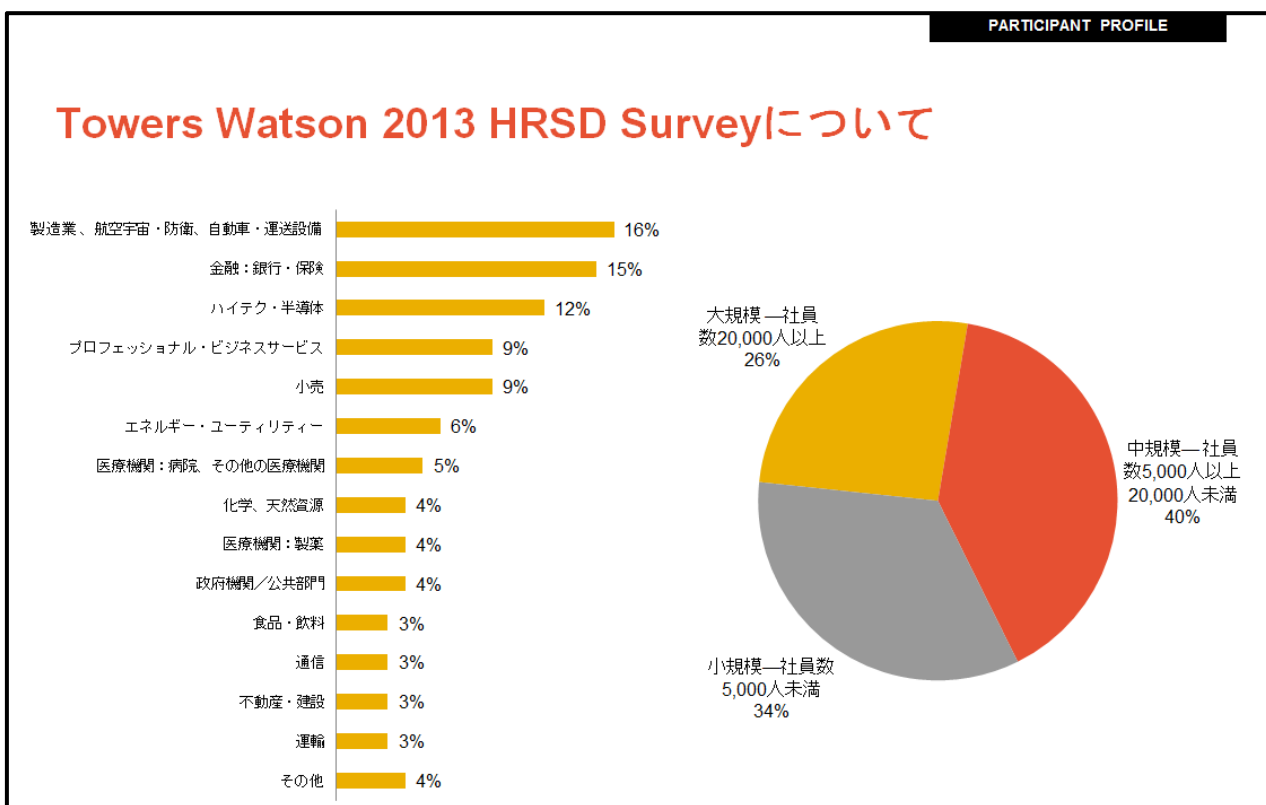
IMMEDIATE RELEASE

Towers Watsonの調査によると、経営の効率性の追求に伴い、人事機能は今後大きく変化

HRテクノロジーへの投資は、引き続き堅調かつ強固

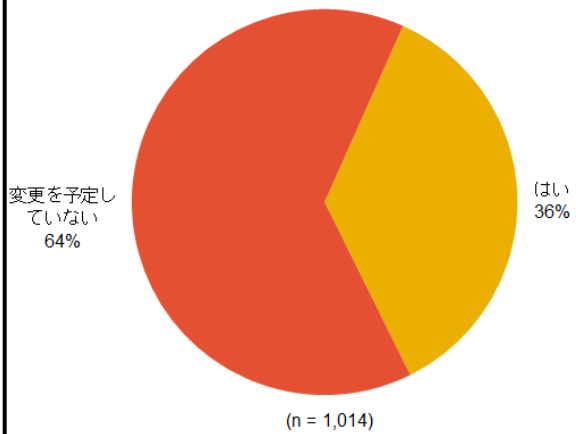
【東京】2013年10月8日(火) -- グローバルにコンサルティングサービスを展開する Towers Watson (NYSE、NASDAQ:TW)が毎年実施している調査によると、アジア太平洋地域を含めたグローバルに展開する企業の約3分の1は、人事機能の効率性追求、プロセスの更なる改善を目指し、今後数年の間に人事組織体制において著しい変化が起きることを見込んでいる。

アジア太平洋地域に拠点を置く企業 578社を含む全世界 1,025社を対象とした調査 2013 HR Service Delivery and Technology Survey (2013年HRサービスデリバリー及びテクノロジー調査)によると、回答した企業の3分の1(33%)が、来年中に人事体制を変更する予定であることが明らかになった。人事体制を変更しようとしている企業のうち、ほぼ4分の3(73%)の企業は更なる効率性を実現するため、半数強(52%)は人事が提供するサービスの品質・クオリティを向上させるために変更を行う予定である。また38%は事業戦略の変更を追求、24%はコスト削減を達成しようとしている。

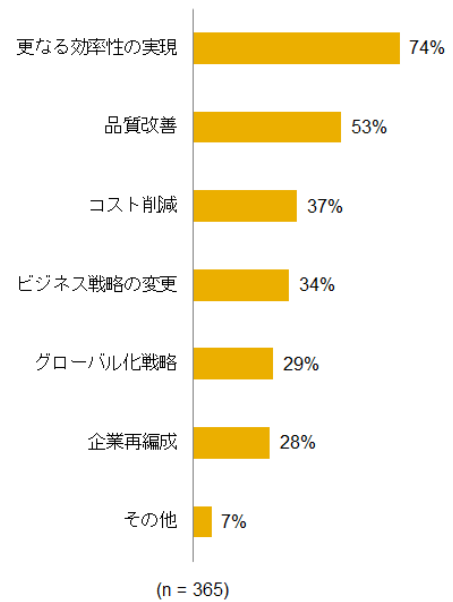


人事組織・体制を変更する理由

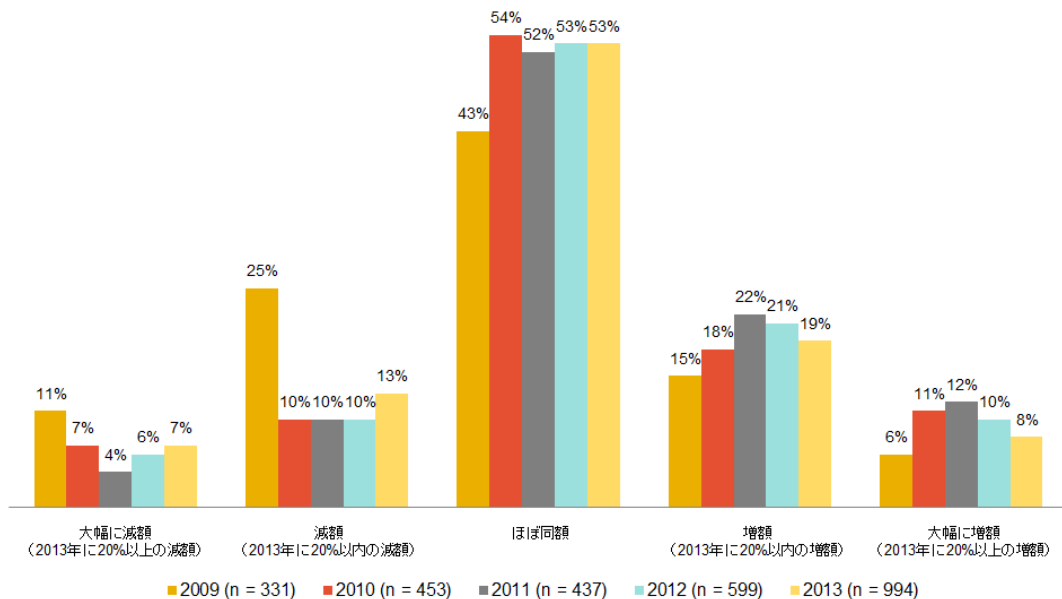
2013年または2014年に、現在の人事組織・体制を変更する予定ですか？



人事組織・体制を変更する理由



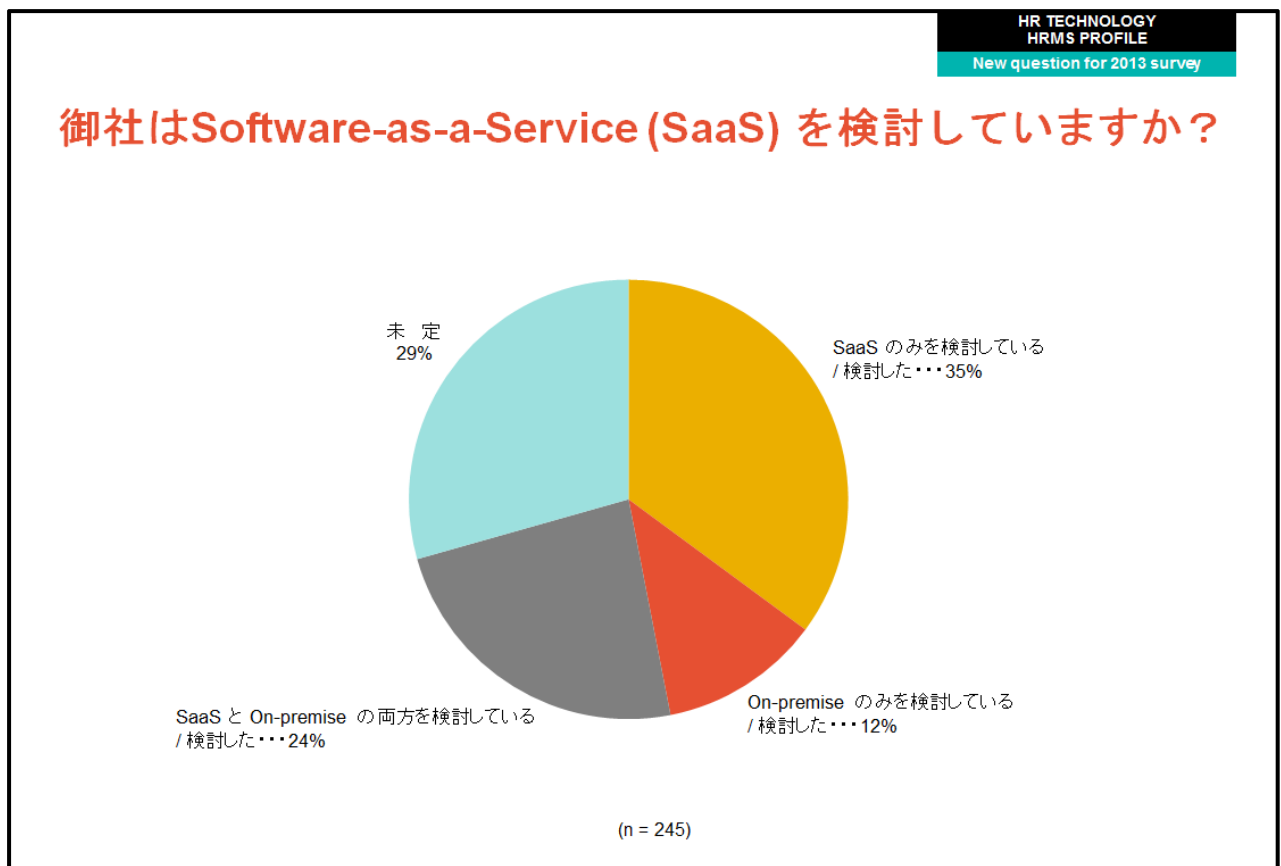
前年と比較したHRテクノロジーへの投資額



「世界中の企業が人事体制、そして HR サービスの提供方法を慎重に検討しています。アジアも例外ではありません。人事機能を見直し、改良し、強化する必要があるのです。特に興味深いのは、人事基幹システムの切り替えが進行しており、SaaS (Software-as-a-Service) へのシフトが進む中で新たなテクノロジーに投資しようという傾向が顕著であることです。」と、タワーズワトソン、アジア太平洋地域 HR サービスデリバリー部門ディレクターのロバート・ザンペッティは述べている。

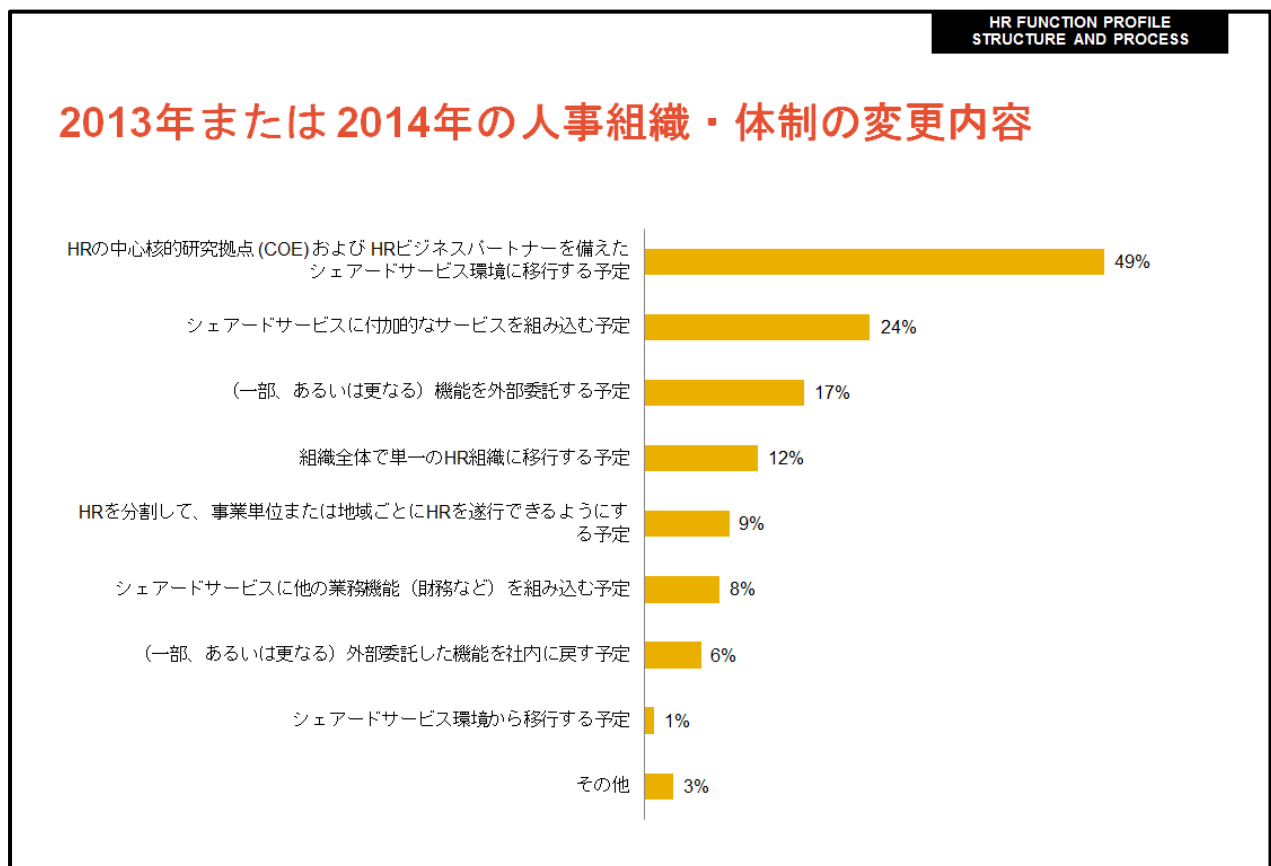
「HR サービスデリバリーは間違いなく変革の途上にあります。人事はその組織体制を変更し、これまでの従来型のプロセス・手続きを見直し、新たな HR テクノロジーやプロセスを導入し、マネージャーのセルフサービスやシェアドサービスを通し HR 機能を拡張することで改革することができます。新たなコンセプト、アプローチ、そしてテクノロジーを使うことは、より良い HR サービスを提供するということなのです。」

(ザンペッティ)



その他主要な調査結果は以下のとおり:

- 今年は、ビジネス主導の戦略的課題への関与の増大が、HR サービスデリバリーにおいて一番(35%)の課題とされ、ビジネスプロセスの合理化(33%)がこれに続いた。



本調査について

第 16 回 HR サービスデリバリー及びテクノロジー調査は、2013 年第 1 四半期に実施された。32 カ国 1,025 企業の HR 及び HRIT 幹部から回答を得ることができ、回答企業の 3 分の 2 は従業員数が 5,000 人を超える中規模および大規模の企業であった。本調査は、アジア太平洋地域に拠点を置く企業 578 社を含む。

本調査のレポートは、以下サイト(英語)からダウンロードしてご覧いただけます：

<http://www.towerswatson.com/en/Insights/IC-Types/Survey-Research-Results/2013/08/2013-HR-Service-Delivery-and-Technology-Survey>

タワーズワトソンについて：

タワーズワトソン (NYSE, NASDAQ: TW) は、人事・財務およびリスクマネジメントの領域において企業の業績向上を支援する、世界有数のプロフェッショナルファームです。全世界に約 14,000 人の社員を擁し、報酬制度、退職給付制度、福利厚生制度、タレントマネジメント、リスク及び資本管理の分野におけるソリューションを提供しています。ウェブサイトのアドレスは以下の通りです：www.towerswatson.com.